

4 説明

(1) 第2次光市教育振興基本計画の策定について

計画策定の趣旨

関係する主な計画

計画策定の趣旨

「教育振興基本計画」とは

教育の具体的な方向性を明らかにし、その実現に向けた
各教育施策を推進するための計画

教育基本法

計画策定の趣旨

第17条第1項

政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、**教育の振興に関する施策について**の基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、**基本的な計画**を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

《文部科学省》 第3期教育振興基本計画（H30年度～R4年度）

第17条第2項

地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における**教育の振興のための施策に関する基本的な計画**を定めるよう努めなければならない。

《山口県》 山口県教育振興基本計画（H30年度～R4年度）

《光市》 光市教育振興基本計画（H30年度～R3年度）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第1条の3第1項

地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の**教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱**を定めるものとする。

《山口県》 山口県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱
(H30年度～R4年)

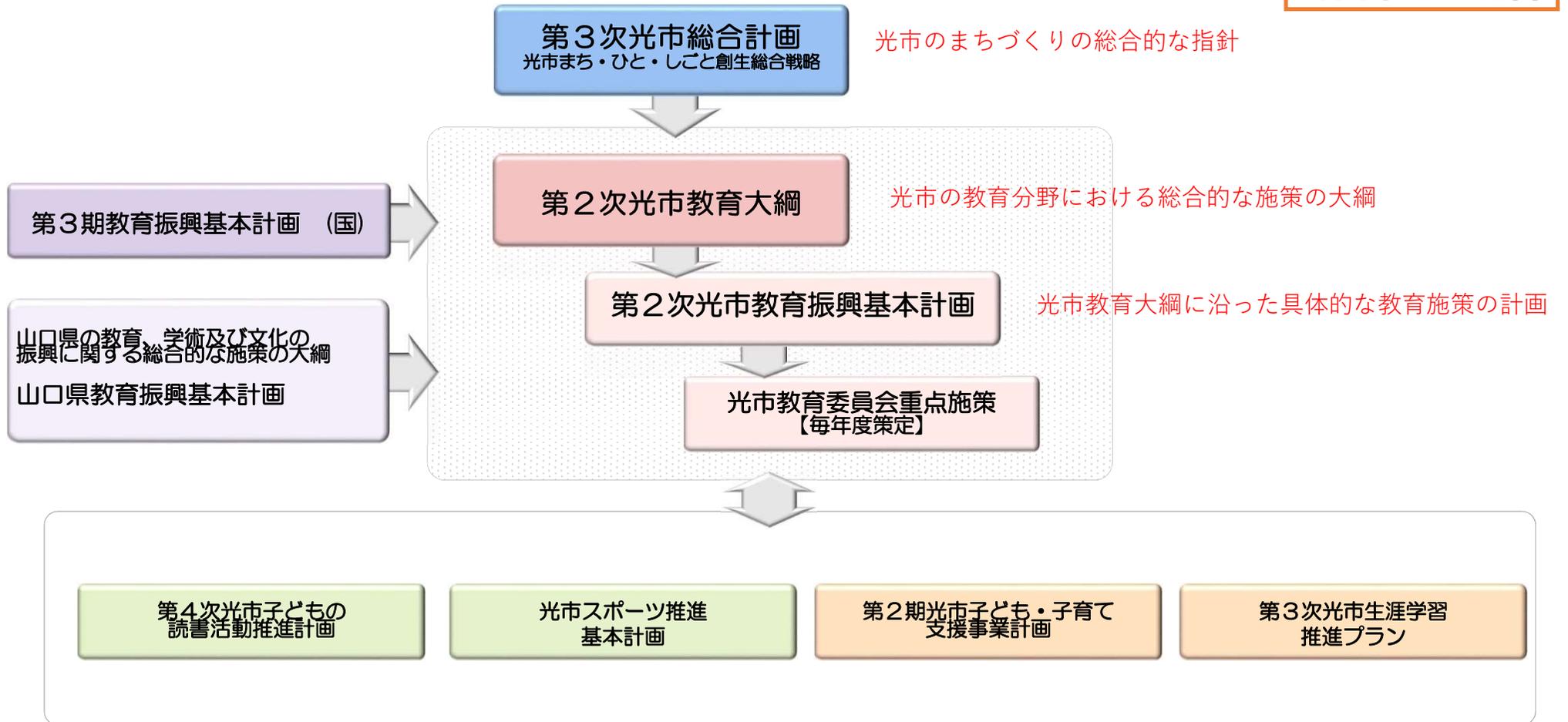
《光 市》 光市教育大綱 (H29年度～R3年度)

※令和4年度からの第2次光市教育大綱を令和3年度末までに策定します

計画策定の趣旨

区分	教育大綱	教育振興基本計画
根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	教育基本法
策定主体	地方公共団体の長	地方公共団体
策定方法	国の「教育振興基本計画」を参酌し、その地域の実情に応じ策定	
範囲等	地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱 ※必須	地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画 ※努力義務
内容	理念、目標、施策の柱 (※光市の場合)	教育大綱で定める理念、目標、施策の柱に沿った具体的な施策 (※光市の場合)

計画策定の趣旨



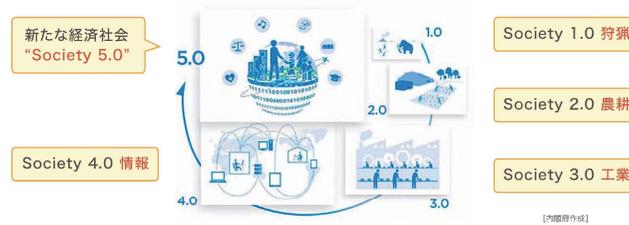
関係する主な計画



《文部科学省》 第3期教育振興基本計画 (H30年度～R4年度) 【概要版】

～超スマート社会(Society 5.0)時代の到来～

「Society 5.0」とは、①狩猟社会、②農耕社会、③工業社会、④情報社会に続く、人類史上5番目の新しい社会を指すもので、生産・流通・販売、交通・健康・医療・金融、公共サービス等の幅広い産業構造の変革、人々の働き方やライフスタイルの変化等を伴います。



～人生100年時代の到来～

- ◆医療体制の充実、医学の進歩、生活水準の向上等により、平均寿命は著しく伸長し、人生100年時代の到来が予測されております。
- ◆今後、生涯に2つ、3つの仕事を持つことや、働きながら、また引退後に、ボランティア等により、地域や社会の課題解決のために活動することなどがより一般的になると考えられます。



子供達が将来生きる社会は、上記のような激動の時代が予想されています。こうした激動の時代を豊かに生き、未来を開拓する多様な人材を育成するためには、誰もが人間ならではの感性や創造性を発揮し、自らの「可能性」を最大化していくこと、そして誰もが身に付けた力を生かしてそれぞれの夢に向かって志を立てて頑張ることができるよう、「チャンス」を最大化していく必要があります。これらを共に実現するための改革の推進が、今求められています。

～社会の現状・2030年以降も見据えた課題～

- ◆人口減少の進展(平成20(2008)年をピークに人口減少)
- ◆高齢化の進展
- ◆技術革新(IoT、ビッグデータ、AI等の技術革新)
- ◆グローバル化の進展
- ◆地域間格差(東京圏への人口集中、消滅可能性都市の指摘)
- ◆子供の貧困
- ◆地域コミュニティの弱体化

～2030年以降の社会を展望した教育政策の重点事項～

- ◆第2期教育振興基本計画で掲げた「自立」、「協働」、「創造」を継承
- ◆「人生100年時代」と「Society 5.0」の到来に向け、政府が取組を進める「人づくり革命」と「生産性革命」に教育政策として貢献することが喫緊の課題
- ◆教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化することを教育政策の中心に据えて取り組む

～今後の教育政策に関する基本的な方針～

- 方針1 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
- 方針2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する
- 方針3 生涯学び、活躍できる環境を整える
- 方針4 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する
- 方針5 教育政策推進のための基盤を整備する

本パンフレットを手にとってくださった方へ

- 中面には第3期教育振興基本計画の「目標」、「指標(測定指標、参考指標)」、「施策群」が一覧で表示されています。
- 各地方公共団体における教育の振興のための施策に関する計画の策定や見直しに活用してください。
- また、学校その他の教育機関においても活用いただけますので、各所での教育政策の遂行の参考としてください。
- なお、今後の教育政策の遂行に当たって、「特に留意すべき視点」については、裏表紙に記載されていますので、併せてご確認ください。

関係する主な計画

生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化

平成30年
6月15日
閣議決定

文部科学省

第3期教育振興基本計画

「文部科学省」 第3期教育振興基本計画 (H30年度～R4年度) 【概要版】

～今後5年間の教育政策の目標と施策群～

5つの基本的な方針の下、実効性のある教育政策を進めるため、①～③を整理した。

- ①教育政策の目標[目標(1)～(21)]
- ②目標の進捗状況を把握するための測定指標・参考指標[注]
- ③目標を実現するために必要となる施策群



⇒目標の達成状況を指標で測定しながら、施策の改善・充実を図る

[注]測定指標: 現在の水準を踏まえ、改善の方向を明確にする指標
参考指標: 大きな数値変動の有無を確認すれば足りるもので、今後水準を把握する指標

方針1 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する

目標1 確かな学力の育成

指標(例) ● OECDのPISA調査等の各種国際調査を通じて世界トップレベルを維持(測定指標)

- 施策群(例)
- 全国学力・学習状況調査の実施・分析・活用
 - 新学習指導要領の着実な実施等
 - 高等学校教育改革の推進

OECD生徒の学習到達度調査(PISA2015)

	2000	2003	2006	2009	2012	2015
科学的リテラシー		3位 /30か国	2位 /34か国	1位 /34か国	1位 /35か国	
数学的リテラシー		4位 /30か国	6位 /30か国	4位 /34か国	2位 /35か国	
読解力	8位 /28か国	12位 /30か国	12位 /30か国	5位 /34か国	1位 /34か国	6位 /35か国

目標2 豊かな心の育成

指標(例) ● 自分には良いところがあると思う児童生徒の割合の改善(測定指標)

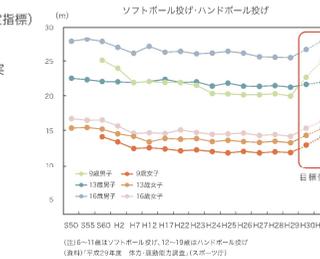
- 施策群(例)
- 子供たちの自己肯定感・自己有用感の育成
 - 道徳教育の推進



目標3 健やかな体の育成

指標(例) ● 子供の体力水準を平成33(2021)年度までに昭和60(1985)年頃の水準まで引き上げる(測定指標)

- 施策群(例)
- 学校保健・学校給食、食育の充実等
 - 学校や地域における子供のスポーツの機会の充実



目標4 問題発見・解決能力の習得

指標(例) ● 学修時間の充実等、学生の学修に対する取組・態度の改善(測定指標)

- 施策群(例)
- 高大接続改革の着実な推進
 - 学生本位の視点に立った教育の実現

目標5 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成

指標(例) ● 進路について将来の仕事に関する意識を高校生の割合(参考指標)

- 施策群(例)
- キャリア教育・職業教育の推進
 - 高等教育機関における実践的な職業教育の推進
 - 学校から社会への接続支援

目標6 家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進

指標(例) ● 地域において子育ての悩みや不安を相談できる人がいる保護者の割合の改善(測定指標)

- 施策群(例)
- 家庭の教育力の向上
 - 地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進

方針2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する

目標7 グローバルに活躍する人材の育成

指標(例) ● 英語力について、中学校卒業段階でCEFR[※]のA1レベル相当以上、高校卒業段階でA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を5割以上にする(測定指標)

※「ヨーロッパ言語共通参照枠」を改定。国際学力調査(CERI)の調査結果を踏まえ、国際標準化機構(ISO)の調査結果を踏まえ、2019年に欧州評議会(Council of Europe)が発表した。

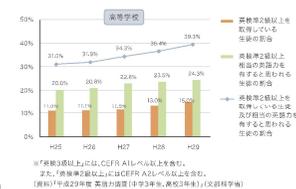
- 施策群(例)
- 伝統や文化等に関する教育の推進
 - 英語をはじめとした外国語教育の強化
 - 日本人生徒・学生の海外留学支援



目標8 大学院教育の改革等を通じたイノベーションを牽引する人材の育成

指標(例) ● 修士課程修了者の博士課程への進学率の増加(測定指標)

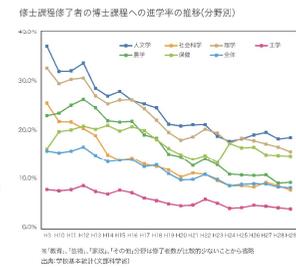
- 施策群(例)
- 大学院教育改革の推進
 - IT・データ活用能力の育成



目標9 スポーツ・文化等多様な分野の人材の育成

指標(例) ● トップアスリートがオリンピック・パラリンピックで獲得する金メダル数(参考指標)

- 施策群(例)
- 次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築
 - 芸術家等の養成、文化芸術振興策の推進



〔概要版〕

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

山口県 教育振興 基本計画

2018年度▶2022年度

計画策定の趣旨・計画期間

- 本県教育を取り巻く環境の変化や、本県の子どもの状況、国や社会の動向等も的確に捉えた上で、前計画の下で進めてきた取組を継承・発展させ、今後5年間の本県教育がめざす方向性と施策を示した新たな指針となる計画です。
- 本計画は、本県教育の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくための基本的な方針や取組を明らかにするものです。
- 教育基本法第17条第2項に定める本県における教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。
- 計画期間は、2018年度から2022年度までの5年間であります。

2018年10月
山口県教育委員会

山口県教育委員会
教育政策課

〒753-8501 山口市滝町1-1 TEL 083-933-4530 FAX 083-933-4539
E-mail a50100@pref.yamaguchi.lg.jp

教育目標、目標達成に向けて

◆ 本県の教育目標

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

- 人口減少や高齢化の進展、急速な技術革新やグローバル化の進展など、大きく変化が予想されるこれからの社会において、子どもたちが変化に対応しながら、主体的に未来を切り拓く力を育てていくことが必要です。
- このため、「生きる力」の育成をめざした前計画の教育目標「未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成」を継承し、知・徳・体の調和のとれた教育の推進や、教育環境の整備など、学校、家庭、地域が一体となった取組を推進します。

やまぐちっ子のすがた

教育目標「未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成」においてめざす「やまぐちっ子」の「すがた」を具体的に示します。

★ 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人

- 一人ひとりの願いや思いを、未来への大いなる夢や理想へと高め、その実現に向けた強い意志を有している。
- 将来に対し希望をもちながら、自らを高めるための努力を惜みず、未知なるものへ進んで挑戦する態度や困難を乗り越える態度、新しいものを取り入れようとする態度を身に付けている。



★ 知・徳・体の調和のとれた生きる力を身に付けるとともに、他者と協働しながら力強く生きていく人

- 志をもちながら未来に向かって挑戦し続けるために必要な、学び続ける力やたくましさ、さらにはこれらを支える豊かな人間性を有している。
- 他者を思いやり、共感したり、感謝したりする心を有するとともに、他者と協働して自己のよさや可能性を見出し、個性を発揮しながら、主体的に考え、判断し、行動するなど、自主・自立の精神に富んでいる。



★ 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

- 豊かな国際感覚をもち、幅広い視野で考え、行動することができる。
- ふるさとの自然や人、伝統、文化を大切にす気持ちを持ち続け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与している。

◆ 目標達成に向けて

教育目標の達成に向けて、子どもたちに「3つの力」、「3つの心」を育成します。

3つの力

学ぶ力

「これからの社会において求められる、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断を可能にする、生涯を通じて主体的に学び続ける力」

創る力

「社会構造が大きく変化する中、よりよい未来に向かって新たな価値を創り出す力」

生き抜く力

「自己を肯定し、社会の中で役割を果たす責任感や勤勉な態度を有し、多様な他者と連携・協働しながら、様々な困難を乗り越えていく行動力」

3つの心

広い心

「互いの人格や価値観を受け入れ、尊重するとともに、互いに理解し協力し合う、前向きで広い心」

温かい心

「人間に対する深い愛情や自然・生命に対する畏敬の念などを基盤とした、豊かで温かい心」

燃える心

「大いなる夢や高い理想をもち、その実現をめざす、不撓不屈の意志や勇氣など、熱く燃える心」

関係する主な計画

≪山口県≫
山口県教育振興基本計画
(H30年度～R4年度)
【概要版】

施策の展開

◆ 総合的・計画的な施策の推進

教育目標である「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」に向けた、今後5年間に取り組む施策について、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」「学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進」「生涯を通じた学びの充実」「豊かな学びを支える教育環境の充実」の4つの柱のもとに体系化し、それぞれの施策について主な取組や目標とする指標を示します。

知・徳・体の調和のとれた教育の推進

① キャリア教育の推進

- 小・中高連携によるキャリア教育の効果的な推進
- 職場見学・体験、インターンシップ等の体験活動の充実

② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実

- 「組織力」「授業力」「連携力」による確かな学力の定着と向上
- 理数教育の充実
- 伝統や文化に関する教育の充実
- 道徳教育の充実
- 外国語教育の充実
- 職業教育の充実
- 主権者教育の充実
- 教育の情報化の充実
- 体験活動の充実

③ グローバルに活躍し、イノベーションを担う人材の育成

- 海外留学の促進
- 英語によるコミュニケーション能力の育成
- グローバルリーダーの育成
- 大学等での高度な学修の基盤となる学力育成（探究）
- 体験的・探究的活動に重点を置いた理数教育の充実

④ 進路指導の充実

- 組織的、系統的、計画的な進路指導の推進
- 進学支援の充実
- 就職支援の充実

⑤ 読書活動の推進

- 学校における読書活動の推進
- 家庭や地域における読書活動の推進
- 山口県子ども読書支援センターによる支援の充実

⑥ 学校における人権教育の推進

- 人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にす
- 教育の推進
- 教職員研修の充実
- 人権に関する資料の整備と活用促進

⑦ いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実

- 心の教育の取組の基盤となる開発的生徒指導の充実
- 問題行動や不登校の早期発見・早期対応に向けた組織的な取組の充実
- 学校・家庭・地域が連携した体制づくり
- やまぐち総合教育支援センター等の相談・支援体制の充実
- 緊急時等の学校への支援体制の充実

⑧ 体力向上の推進

- 体力向上に向けた組織的な取組の推進
- 指導方法の工夫改善による学校体育の推進
- 家庭や地域と一体となった取組の推進

⑨ 食育の推進

- 望ましい食習慣の定着に向けた学校・家庭・地域の連携による組織的、計画的な食育の推進
- 学校給食の充実
- 栄養教諭・学校栄養職員による資質能力の向上

⑩ 健康教育の推進

- 望ましい生活習慣の確立に向けた学校保健（保健管理・保健教育）の組織的、計画的な取組の推進
- 現代的な健康課題の解決に向けた取組の充実

⑪ 特別支援教育の推進

- 総合支援学校における教育の充実
- 高等学校等における特別支援教育の充実
- 小・中学校における特別支援教育の充実
- 早期からの切れ目ない支援体制の充実
- 特別支援教育を推進する体制の充実

⑫ 幼児期における取組の充実

- 幼児期の教育と小学校教育の接続の促進
- 子育て支援の推進と地域協働ネットワークの活用

⑬ 少人数教育の推進

- 小・中学校における効果的な少人数学級の実施
- 少人数指導（複数教員による指導、学習集団の構成）の充実等



学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

⑭ 地域連携教育の充実

- 【やまぐち型地域連携教育の推進】
- 推進の核となる人材の派遣・養成
- 地域資源を活用した、子どもたちのふるさとを愛する心の育成
- 多様な人材の参画による地域ぐるみの活動の推進
- 放課後子ども教室の充実と放課後児童クラブとの連携促進

⑮ コミュニティ・スクールを核とした地域連携教育の拡大・充実

- 【高等学校等】
- 学校・学科の特色や専門性に応じた、地域の活性化に直接貢献する、高校ならではの取組の推進
- 【総合支援学校】
- 地域とともにあるコミュニティ・スクールの取組の充実
- 地域への障害に関する理解促進

⑯ 家庭教育支援の充実

- 意識啓発・情報提供の推進
- 保護者等への学習機会を提供
- 地域における相談・支援体制の充実
- 専門機関による相談・支援の充実

⑰ 社会教育施設等を活用した教育の充実

- 学校と青少年教育施設、地域が連携した体験活動の充実
- 山口図書館、山口博物館、文書館、埋蔵文化財センターにおける取組の充実

生涯を通じた学びの充実

⑱ 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

- 生涯学習情報の提供体制の充実
- 多様な学習機会の提供や活用促進
- リカレント教育の推進に向けた環境の整備
- 学習成果を生かす活動の促進
- 生涯学習推進のための人材育成

⑲ 地域社会における人権教育の推進

- 地域社会における自主的な取組への支援
- 人権教育指導者の養成
- 人権に関する資料の整備と活用促進

⑲ 地域とともにすすめる文化財の保存・活用

- 文化財の地域一体での保存・活用
- 世界遺産登録及び日本遺産認定の取組の推進

⑳ 文化にふれあい親しむ環境づくりの推進

- 学校現場での優れた芸術にふれあう機会の提供
- 文化活動の発表の機会の提供
- 県立文化施設等との連携による企画展や講座等の充実

㉑ 「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進

- 生涯スポーツの推進
- 競技水準の向上
- 人材の育成
- 交流人口の拡大と地域の活性化

豊かな学びを支える教育環境の充実

㉒ 教育施設・設備の整備、教育環境の向上

- 県立学校の整備
- 市町立幼・小・中学校の耐震化等の促進
- 学校施設の防災機能の強化・充実

㉓ 学校安全の推進

- 学校教育活動全体を通じた「安全教育」の充実
- P D C Aサイクルの確立を重視した「安全管理」の充実
- 教職員の資質向上と、総合的な学校安全の取組による「組織活動」の充実
- 安全意識・能力を育む「防犯を含む生活安全」の推進
- 自他の命を守る「交通安全」の推進
- 防災対応能力の向上を図る「災害安全（防災）」の推進

㉔ 学校における働き方改革の推進

- 業務の見直し・効率化
- 勤務体制等の改善
- 学校支援人材の活用

㉕ 教職員の資質能力の向上

- 教員の養成・採用・研修の一体改革
- 優れた人材の確保
- 教職員評価の充実
- 教職員研修の充実
- 学校内の人材育成
- ミドルリーダーの育成とマネジメント能力を有する管理職の育成
- 教育に関する調査研究機能の強化
- 教職員のメンタルヘルスの維持

㉖ 校種間連携・一貫教育の推進

- 校種間連携の推進（教育活動、教職員の連携）
- 中高一貫教育の更なる推進

㉗ 多様な学びのニーズに応える特色ある学校づくり

- 地域社会の教育力を活用した地域ぐるみの教育活動の推進
- 「県立高校再編整備計画」の着実な推進

㉘ 私学の振興

- 私学助成の充実
- 地域に開かれた幼稚園づくりへの支援
- 私立学校の耐震化の促進

㉙ 修学支援の充実

- 経済的理由により修学が困難な生徒・学生に対する支援
- 離島高校生に対する支援
- へき地や過疎地域等の児童生徒等の通学に対する支援



関係する主な計画

≪山口県≫
山口県教育振興基本計画
(H30年度～R4年度)
【概要版】

◆緊急・重点プロジェクトの推進

緊急課題や重点課題に対応するための7つのプロジェクトを設定し、重点的に推進します。

(1) 「地域教育力日本一」推進プロジェクト

「やまぐち型地域連携教育」の推進により、関係機関や首長部局とも連携・協働した人づくり・地域づくりの推進や、県立高校等による地域課題の解決に資する取組の充実、企業・大学等との連携に取り組み、「地域教育力日本一」をめざします。



(2) 教育を通じた「ふるさと山口」創生プロジェクト

ふるさとに誇りと愛着をもち、地域の産業・社会を支える人材の育成や、意欲と能力のある若者の県内定着の促進により、教育を通じた地方創生の実現をめざします。

(3) 確かな学力育成プロジェクト

「やまぐち型地域連携教育」の仕組み等を生かした地域や家庭と連携した取組や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践的な研究、個々の児童生徒に対するきめ細かな指導体制の充実などの取組により、新しい時代に求められる資質・能力の育成を図ります。

(4) 豊かな心・健やかな体 育成プロジェクト

児童生徒の規範意識の醸成や、暴力行為や不登校の減少、全てのいじめの解消をめざすとともに、道徳教育の充実や、体力向上、食育・健康教育の推進などに取り組み、子どもたちの豊かな心を育み、たくましく生きるための健やかな体の育成を図ります。

(6) 教職員人材育成プロジェクト

高い志をもった教員志願者の養成や、地域とともに「山口県の未来を拓く」現職教員の育成に取り組むとともに、学校における働き方改革を推進し、子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の充実を図ります。

(7) 安心・安全な学校づくりプロジェクト

子どもたちが安全に、安心して教育が受けられるよう、「生活安全」、「交通安全」、「災害安全」に対する実践的な学びの導入を進めるとともに、学校施設の老朽化対策の推進や耐震化の促進を図ります。



(5) 魅力ある学校づくりプロジェクト

様々な入学動機や学習歴をもつ生徒の多様なニーズへの対応や、高等学校等における「通級による指導」導入をはじめとした特別支援教育の充実など、多様な学びの期待に応える、魅力ある学校づくりをめざします。



◆主な推進指標

№	指標名	現状値	目標値(2022年度)	№	指標名	現状値	目標値(2022年度)
1	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合(公立小・中)	小67.1% 中74.3%	増加させる	27	スタートカリキュラムの改善に向けて、幼児教育施設との意見交換や合同の研究の機会などを設けている公立小・中学校の割合	-	100%
2	地域と連携して「1/2(成人式)や立派式」を行っている公立小・中学校の割合	-	小・中100%	28	<高経5の再掲>	-	-
3	高校在学中に、体験的なキャリア教育(インターンシップ、大学・企業訪問等)を行った生徒の割合	-	高100%	29	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合(公立小・中)	小49.5% 中39.3%	小学校60.0% 中学校70.0%
4	全学力・学習状況調査正答率の全国平均との比較(公立小・中)	(各都府県) 小・中学校全区分で全国平均を上回る	-	30	地域教育ネットワークコーディネーター養成講座修了者数(累計)	259人	500人
5	勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合(公立小・中)	小64.1% 中62.4%	増加させる	31	コミュニティ・スクールを導入し、地域と連携した学校・地域の課題解決に取り組んだ公立高校等の割合	31.5%	100%
6	家庭の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合(公立小・中)	小78.2% 中80.8%	増加させる	32	近隣の小・中・高等学校等のコミュニティ・スクールと連携した取組を実施した総合支援学校	-	12校
7	中学校卒業段階で英検3級以上相当、高等学校卒業段階で英検準2級以上相当を達成した中高卒業生の割合	中学校卒業時: 37.9% 高等学校卒業時: 37.6%	中学校卒業時: 50% 高等学校卒業時: 50%	33	「やまぐち型地域教育支援チーム」の設置率	-	全中学校区の50%以上
8	サンプ・サイエンティスト基大事業における小・中学生の科学授業への参加者数	-	小・中 24,000人	34	A F P Yアドバイザーの活動回数	363回	1,800回 (2018～2022累計)
9	やまぐちサイエンス・キャンプの参加高校生数	高 79人	高 100人	35	山口博物館における「博物館地域連携教育支援事業」の利用者数	30,468人	150,000人 (2018～2022累計)
10	高校生の就職決定率	99.1%	100%に近付ける	36	生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」掲載記事数	64,707件	75,000件
11	高校生の県内就職割合	80.2%	85%以上	37	社会教育主事有資格者養成数(5年平均)	17.8人	20人
12	中学校・高校卒業のうちは進路決定者の割合	中99.2% 高92.2%	増加させる	38	地域社会における人権教育の指導者養成に係る県教委主催の研修会の受講者数(年間)	304人	320人
13	読書が好きと感じている児童生徒の割合(公立小・中)	小73.7% 中75.2%	増加させる	39	地域計画等(歴史文化基本構想を含む)の策定件数	-	3件
14	人権教育に関するサテライト研修等への参加者からの継続参加回数	203回 (2013～2017累計)	250回 (2018～2022累計)	40	文化財出前講座の実施回数	27回 (2013～2017累計)	95回 (2018～2022累計)
15	「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思っている児童生徒の割合(公立小・中)	小87.8% 中85.3%	増加させる	41	学校芸術文化ふれあい事業を活用して、豊台芸術を鑑賞した公立小・中学生の割合(年間)	37.1%	維持・向上させる
16	いじめの解率率(公立小・中・高、総合支援学校)	98.1%	100%に近付ける	42	県民のスポーツ実施率(週1回以上)	29.3%	65.0%
17	1,000人当たりの不登校児童生徒数(公立小・中・高)	小・中11.4人 高4.1人	減少させる	43	県立小・中学校の耐震化率	96.8%	早期に完了させる
18	1,000人当たりの暴力行為発生件数(公立小・中・高)	3.9件	減少させる	44	県立幼保連携の耐震化率	86.4%	早期に完了させる
19	全体力・運動能力・運動習慣等調査(スポーツ庁)における、体力測定点の県平均点(公立小・中)	小5男子52.9点 小5女子54.3点 中2男子41.5点 中2女子49.4点	増加させる	45	長寿化(個別施設)計画決定率	10.0%	100%(2020年)
20	朝食を毎日食べる児童生徒の割合(公立小・中)	小6: 95.9% 中3: 94.8%	増加させる	46	日時等を事前に打合せない遊技場等を実施している学校の割合(公立幼保連携・こども園、小・中・高、総合支援学校)	53.3%	増加させる
21	授業補助員の出席率	小596.06% 小526.33%	減少させる	47	教員一人当たり1か月平均時間外業務時間	小学校 40.6時間 中学校 56.7時間 県立学校43.6時間	小学校 28.68時間 中学校 39.78時間 県立学校30.58時間 (2019年度平均値)
22	12歳児でしんどい(うる)のない人の割合	64.7%	増加させる	48	<理直前4、16、17、18を再掲>	-	-
23	総合支援学校等部部の就職希望生徒の就職決定率	94.6%	100%に近付ける	49	近隣の中小(小)学校と、教科の教育課程の連携や、教材に関する共通の目標設定など、教育課程に関する連携の実施を行った小(中)学校の割合(公立小・中)	小77.2% 中83.2%	小100% 中100%
24	公立幼・小・中・高校における特別な支援を必要とする児童生徒についての個別的教育支援計画の作成率	-	100%	50	中学生が読書会(各教科で実施される読書会や学校読後等)に参加するために訪問した高校の数	1.39校	増加させる
25	公立幼・小・中・高校における特別な支援を必要とする児童生徒についての個別的教育支援計画の作成率	-	100%	51	子育て支援を行っている私立幼稚園の割合	96.8%	100%
26	義務教育段階から高等学校段階に進学、結果する生徒について、個別的教育支援計画を活用した支援情報の引継ぎ率	-	100%		私立学校(幼・中・高)の耐震化率 (2階以上又は200㎡以上の非木造施設)	84.5%	95% (2022年)

計画の着実な推進

市町教委、関係機関・関係団体等との連携

- 分かりやすい情報発信・広報活動による計画の周知。
- 学校、家庭、地域をはじめ、大学や民間企業等とも連携を図り、県民総参加による本県らしい特色ある教育を推進。

計画の進行管理

- PDCAサイクルの考え方に基づく点検・評価の実施。
- 教育関係の有識者で構成する「山口県教育振興推進会議」における意見を踏まえた点検・評価方法の見直しや、施策内容の見直し・改善などに反映。
- 社会・経済情勢の大きな変化や、国の制度改革などが生じた場合は、計画期間中においても、必要に応じて適宜、適切な見直しを実施。

◇詳しい情報はこちらへ⇒ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50100/kihonkeikaku/kihonkeikaku.html>

山口県教育振興基本計画 検索

関係する主な計画

《山口県》
山口県教育振興基本計画
(H30年度～R4年度)
【概要版】

関係する主な計画

《光市》
光市総合計画
(H29年度～R3年度)
【概要版】



～「ゆたかな社会」への歩み～

皆さん、「光」という言葉にどのようなイメージを持っておられますか？

夢、希望、未来、志、元気、輝き、楽しさ…明るく前向きで、プラスのエネルギーに満ち満ちたイメージが浮かぶのではないですか。

私はこの字を見ると、中心から7つの光の線が放射状に広がり、まるで人を包み込むような温もりを覚えます。私たちのまちには、身近にこうした「光」を持つイメージを呈する資源、つまり「強み」となるものがふんだんにあります。その一部をご紹介しますと、自然敬愛の精神のもと先人から守り伝えられてきた山・川・海の美しい自然や全国トップクラスの日照時間を有する温暖な気候、唯一無二の「おっぴ都市宣言」のまちにふさわしい充実した子育て環境、2つの市立病院を核とした安心の医療・保健環境、そして、協働の精神のもと花開く市民力や地域力。「名は体を表す」とはよく言ったもので、どれも「光」のイメージにピッタリと当てはまります。

第2次光市総合計画では、こうした「強み」をさらに伸ばし、激動する時代の要請を踏まえた課題を克服するために、これから5年間で為すべきことを「光・未来創生プロジェクト」を中心に織り込みました。

今後5年間、何より大切なことは、現在(いま)と未来の架け橋となるこの計画に基づいた具体的な行動であり、「ゆたかな社会」への確かな歩みを、市民の皆様はじめ「チーム光市」の総力を結集して進めていくことです。

ともにまいりましょう。 ゆたかな社会へ。

平成29年3月

光市長 市川 照



たくさんの方の市民のみなさんの意見を聞いて、議会の議決を受けてできた計画なんだよ

「チーム光市」の力をあわせて未来のまちづくりを進めていこうぞ！

第2次光市総合計画とは

第2次光市総合計画は、20年後のまちの姿を展望し、平成29年度から33年度までの5年間のまちづくりの基本的な考え方や取組みを示すものです。計画の着実な推進により、私たちが目指す理想の光市の姿である「ゆたかな社会」の実現を目指します。



目指す将来像 (20年後のまちの姿)

ゆたかな社会 ～やさしさひろがる 幸せ実感都市 ひかり～

「ゆたかな社会」とは、市民一人ひとりが自らの創造性を発揮しながら生き生きとした生活を享受している社会です。そこでは、まち全体にひろがる「やさしさ」に包まれて、市民一人ひとりが心から「幸せ」を実感しており、あらゆるところに人々の笑顔があふれています。

5年間のまちづくり

【まちづくりの基本】

まちづくりの根幹的な基本方針である「光市民憲章」とまちづくりの根底に築み渡る普遍、不朽の理念である「3つの都市宣言」の理念をまちづくりの基本とします。

光市民憲章 平成17年10月2日

おっぴ都市宣言
平成17年6月30日

自然敬愛都市宣言
平成18年3月23日

安全・安心都市宣言
平成20年9月22日

【基本目標】

目指す将来像の実現に向けて取り組む6つの基本目標を掲げます。

- 1 限りない市民力・地域力がゆたかに花開くまち
- 2 ゆたかな人間性と可能性を大切に心温かい人が育つまち
- 3 安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち
- 4 自然と都市が潤いゆたかに調和したまち
- 5 産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち
- 6 市民参画と健全な行財政でゆたかさを創出するまち



関係する主な計画

《光市》
光市総合計画
(H29年度～R3年度)
【概要版】



地域自治の実現に向けた環境整備

- コミュニティプランの具現化支援
- 地域コミュニティ活動の活性化支援
- 市民と行政による協働事業の充実
- 地域コミュニティとコミュニティ・スクールの連携促進 など



自主防災組織のリーダー研修

市民力・地域力を活かした防災・減災の推進

- 自主防災組織の活動支援
- 災害時要援護者（避難行動要支援者）の把握と避難体制の仕組みづくり
- 避難所等のあり方の検討
- 住宅の耐震診断や耐震改修の促進
- 市民の防災・減災の拠点となる市役所本庁舎の耐震化に向けたあり方の検討 など



JR光駅



人口定住促進プロモーションビデオ「ひかりのまち」のロケ

光・未来創生プロジェクト

「ゆたかな社会」や「やさしい社会」を創出する。幸せ実感都市「ひかり」の実現に向けた取り組みを計画的に推進していくために、特に重点的かつ戦略的に取り組むべき政策を「光・未来創生プロジェクト」として位置付けます。



「雇用の日」メッセージフォーラム



ニューファーマー・コミュニティ・リサーチ

JR光駅の橋上化と周辺整備

- 鉄道事業者と一体となったJR光駅の橋上化
- JR光駅の周辺施設等のバリアフリー化
- JR光駅周辺の交通結節機能の充実 など



都市計画道路の整備

公共交通ネットワークの構築

- 新光総合病院への交通アクセスの整備
- 新たな公共交通サービスの調査研究 など

幹線道路の整備促進

- 都市計画道路（瀬戸風線、川園線等）の整備促進 など

通院や買物、通勤・通学のためにバスなどを利用しやすい環境づくりが進んでいるよ！



JR光駅の橋上化や駅周辺の開発、駅を含めた市内全域の公共交通ネットワークの構築や幹線道路の整備に取り組みます。

Project 7 **ゆきかう光！**
JR光駅の橋上化と交通ネットワーク強化プロジェクト

「光」の知名度向上

- 「光」の海の魅力の向上
- 「光」をテーマとした事業の実施
- SNS等を活用した若者への戦略的な情報発信 など

光市の魅力を全国に広めているよ！
大好きな光市にたくさんの方が住んでくれたらいいな

移住・定住しやすい環境の整備

- 移住希望者や若者を対象とした就業支援の充実
- 移住希望者を対象とした住宅支援の充実
- 県や大学等と連携した若者の地元定着の支援 など



まちの魅力の発掘、発信や移住・定住の受け皿となる環境整備を行い、若者を中心とした移住・定住を促進します。

Project 6 **すみたい光！**
若者を呼び込む移住・定住全力プロジェクト



光輝くまるい光市シティセールス用ビデオの1コマ

結婚を望む男女の出会いの場の創出

- 出会いの場の創出支援
- 県等と連携した結婚支援 など

創業者や新規農業・漁業就業者への支援が行われているね！
たくさんの人にこのまちで働いてもらえるといいな

雇用や創業の推進

- 雇用の確保や安定に向けた情報発信
- 商工会議所・商工会や金融機関等との連携による創業者への包括的支援
- U/Iターン者や女性を対象とした創業支援の充実
- 事業所設置の推進 など



まちの活かさや生活を支える雇用の場の拡大、創業や6次産業化などの新たなチャレンジを支援します。

Project 5 **さかえる光！**
活力を生み出す雇用・創業応援プロジェクト

第一次産業の活性化と6次産業化の推進

- 新規農業・漁業就業者の確保対策と定住支援
- 新規農業・漁業就業者の研修受入れや雇用する法人等への支援
- 農林漁業者による6次産業化と商工業との連携の支援
- 農業振興拠点施設「里の厨」を中心とした地産地消と地域農業の推進 など

関係する主な計画

《光市》
光市総合計画
(H29年度～R3年度)
【概要版】